

止まり木から溜まり場へ

ほんの少し人が立ち止まることのできる工夫が
県営住宅の住民の暮らしを手助けする。
ゴミ出しや重い物の帰り、待ち合わせや散歩の合間に気軽に立ち寄り、
ふと休める集会所が、団地の日常に自然な暖かい溜まり場をつくる。

気軽に立ち寄るみんなの憩いの集会所

「自然に集う溜まり場」を作るには、**集会所という存在が住人の日々の暮らしに寄り添い、身近な存在となる**ことが大切であると考えます。
現在の集会所は、日常的に住民が利用することができないため、暮らしに身近な存在であるとは言えないのではないですか。

そこで、**人がふらっと気軽に立ち寄り休憩できる、「止まり木」のような居場所を計画し、利用時には様々な住人を引き込み、施設でも住民の活動の小さな拠点となる集会所を提案します。**

「止まり木」をつくる形

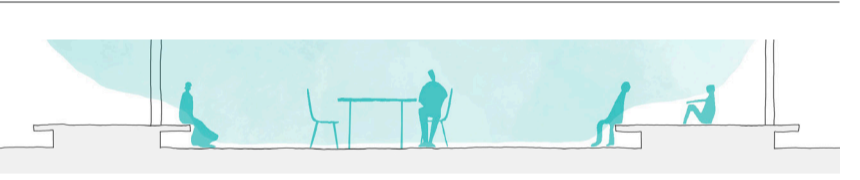
既存の集会所は長方形の外周ラインを先に計画し、その内側に必要な諸室を計画していくといった、外周部を決めてから内部へ向かう流れで空間が計画されているように捉える事ができます。

私たちが提案する集会所では、先に中心となる**集会室を配置した後に必要諸室を付け加えていく**といった、内部から外周部へと向かう流れで全体を計画しています。

諸室を付け加えるように計画する事で生まれた**デコボコした外周ラインに沿って350mmの高さの小上がり=止まり木スペースを配置**します。長方形のような整然とした形では生まれない、人が居心地の良さを感じやすい角の空間が多数生まれます。

内部からも外部からも触れることのできる**止まり木**という新たな内外を繋ぐ境界。それは集会所という建築を県営住宅の環境に対して開き、ふらっと住人が訪れた時でも居場所を提供する、住人の日々の暮らしに寄り添う建築になると考えます。

長居したくなるお椀型の空間



提案する集会所は**断面的に見るとお椀型のような空間**となっています。
お椀の中心部分では囲まれ感により落ち着きを感じられ、縁の部分では靴を脱ぐ事によって家のような居心地の良さを感じる事ができます。
椅子に座るのが心地よい人、寝転がりたりあぐらをかいた心地よい人、**多様な人のくつろぎ方を受け入れる空間**として計画する事で、長く居続けたいくなる、溜まり場となる空間を目指します。

止まり木が生む様々な集会所の使い方

【通常の集会所時】
中央土間空間で集会所をつつ、止まり木スペースで子どもが遊んでいたりと多様な活動を行う事ができます

【大規模な集会所時】
建具を開放すると、止まり木スペースを含めた約100㎡(軒下を約120㎡)の大空間を確保する事ができます

【家のような使い方】
畳に寝転んだり、あぐらをかいて会話したり、靴を脱いで家のようなくつろいだ姿勢で利用する事ができます

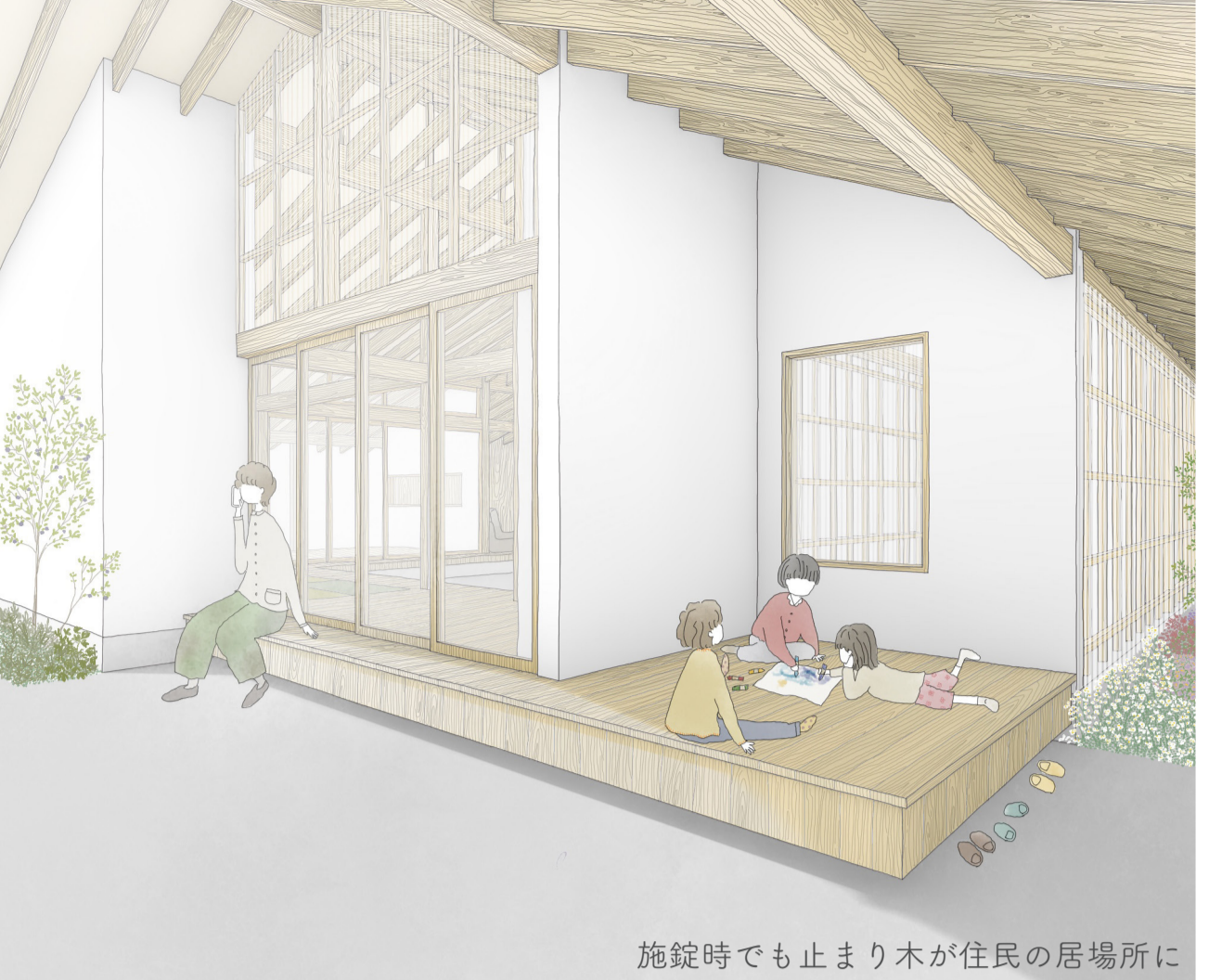
【複数の活動を同時並行】
中央土間空間で会議をする場合、周囲の小上がり部分に仕切りを設ける事で、同時に別の活動を行う事ができます

【施錠時】
重い荷物を置いて一休みしたり、家族で遊んで帰ったりと施設時でも止まり木を利用する事が可能です

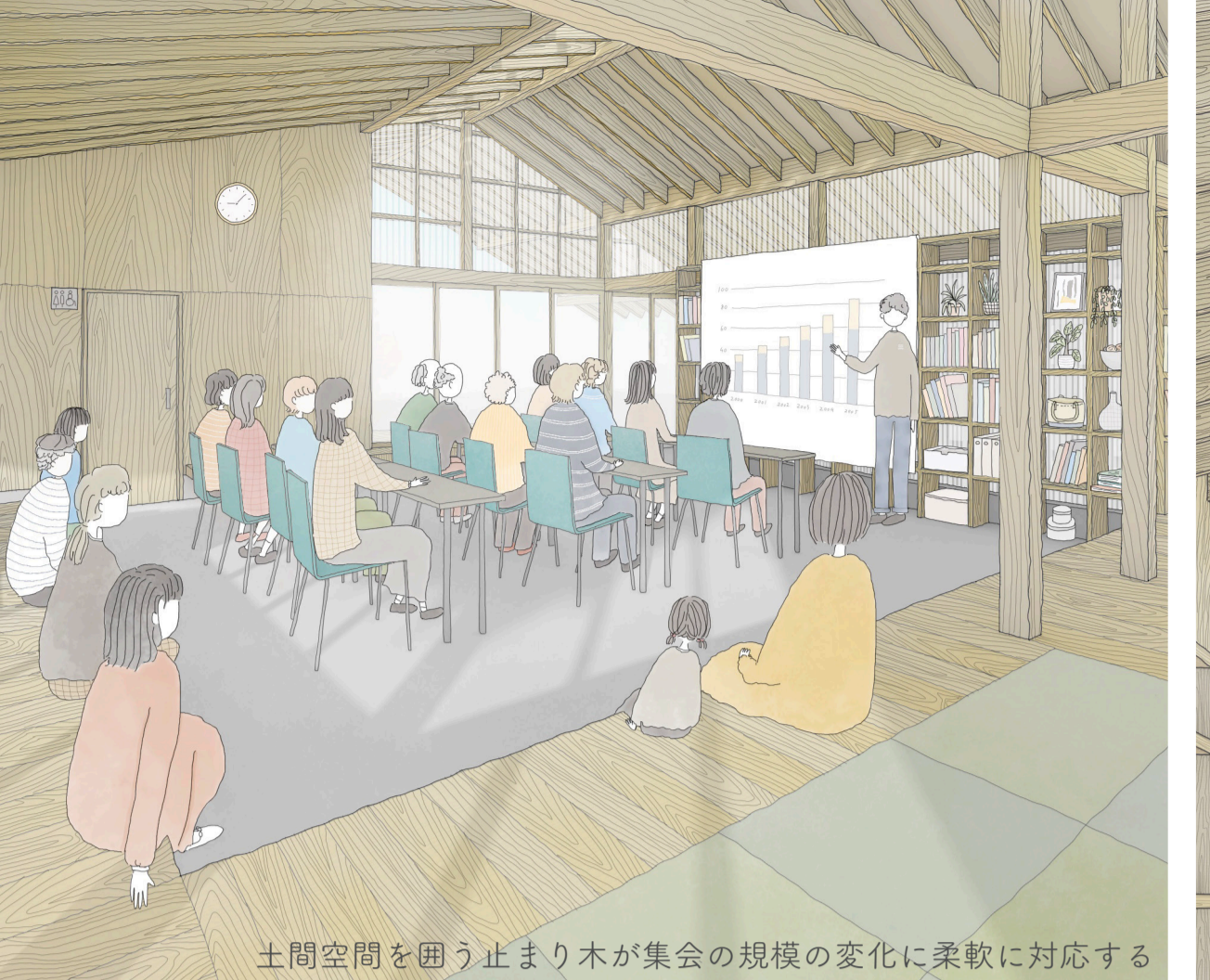
【汚れ知らずの大空間】
土間の家具を倉庫に収納すると汚れを気にせず多様な活動を行うことのできる大きな一室空間へと早変わりします

【自然な交流を生む止まり木】
入り口の近くにある、座ることや寝転がることのできる大きな空間。集会所にやってくる住人同士が自然に顔を合わせることによって自然な交流が生まれるきっかけとなる止まり木

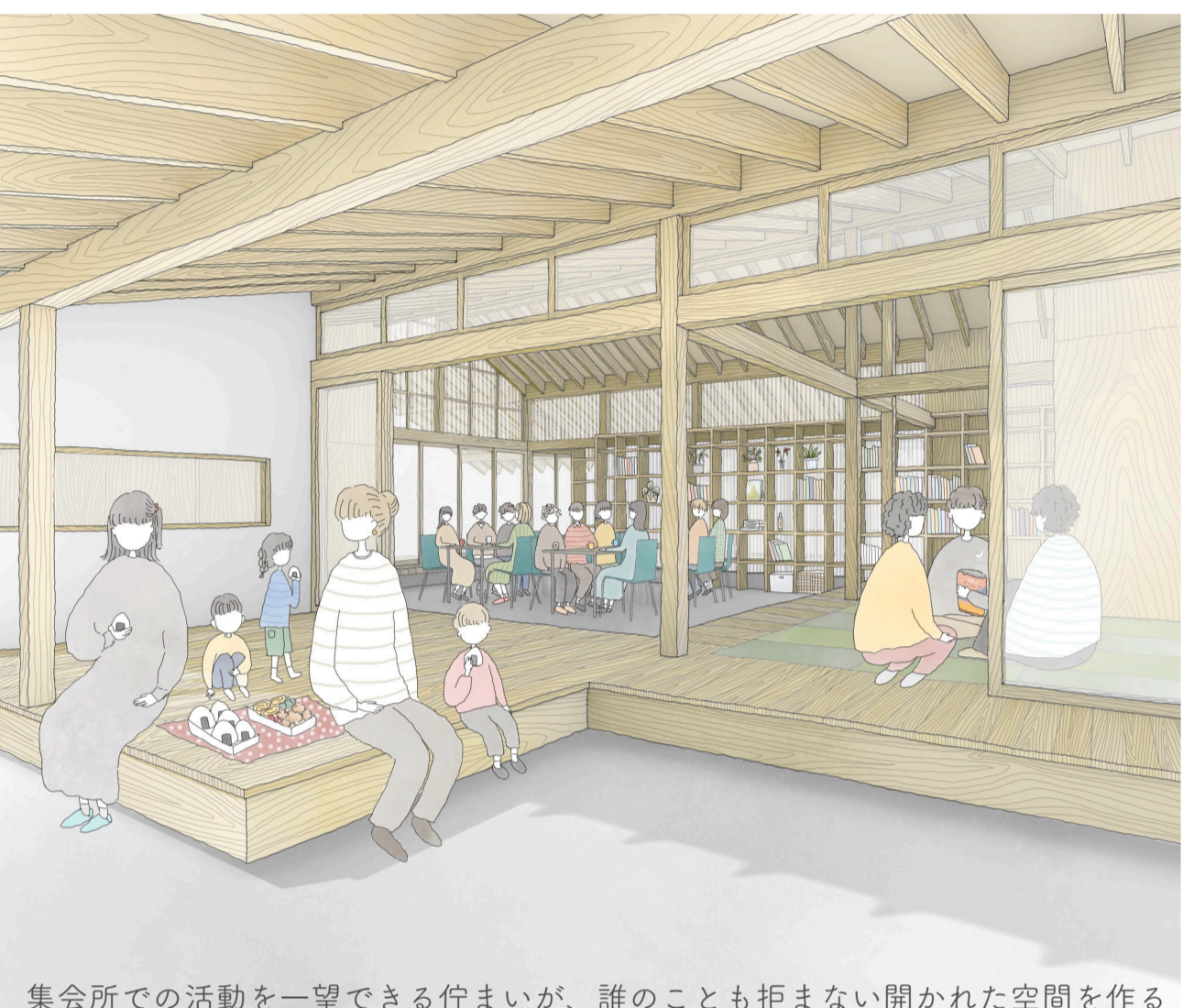
【便利な止まり木】
重い物帰りに荷物や重い物、友達との待ち合わせにちょっと便利な止まり木



施錠時でも止まり木が住民の居場所に



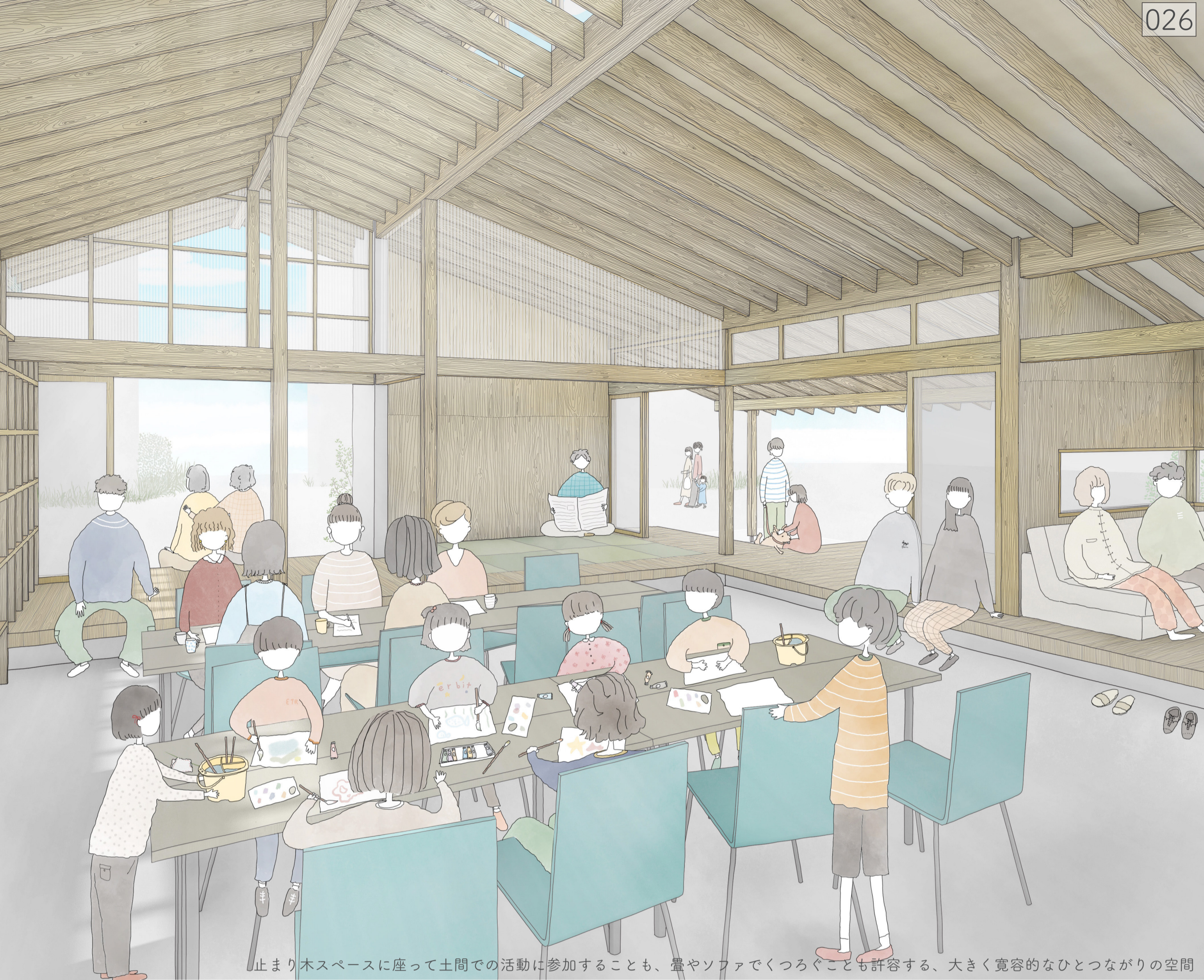
土間空間を囲う止まり木が集会所の規模の変化に柔軟に対応する



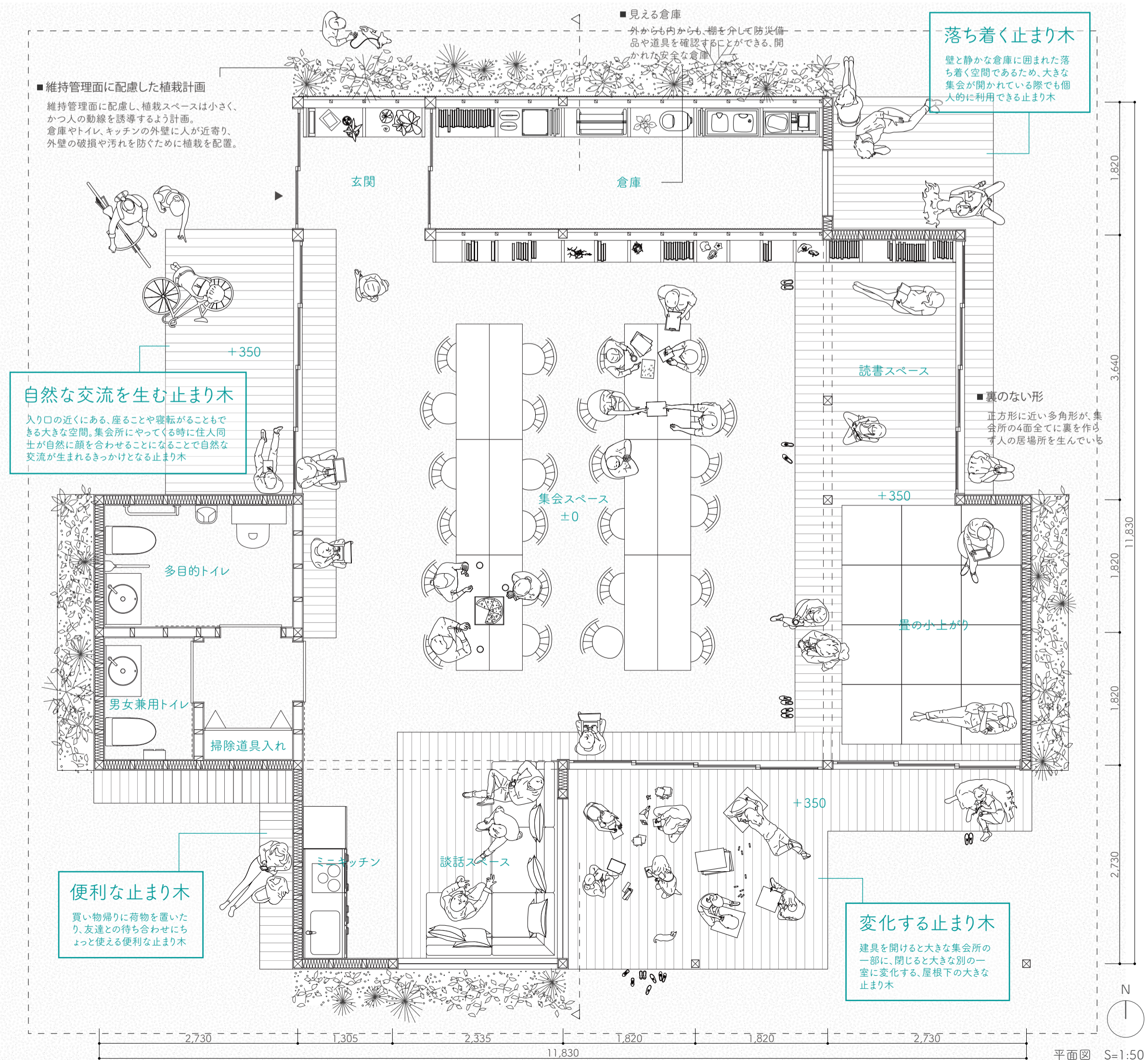
集会所での活動を一望できる佇まいが、誰のことも拒まない開かれた空間を作る



視線が抜け、止まり木でくつろいでいる人が垣間見える



止まり木スペースに座って土間での活動に参加することも、畳やソファでくつろぐことも許容する、大きく寛容なひとつながりの空間



維持管理が容易かつ多様な活動を許容する土間の集会所

大きな一室空間である集会所スペースが清掃しやすい**基礎コンクリート直仕上**である事でコストを抑えつつ、多様な活動を行う事が可能となります。

コストに配慮しつつも豊かな空間を作る素材

- ・**基礎コンクリート直仕上**
床面積の8割を占める集会所スペース、玄関、倉庫、トイレの床の仕上げを「基礎コンクリート直仕上」とする事で、床の仕上げ材料に掛かるコストを抑えます。
- ・**内壁：ラワン合板**
内壁は釘や面材を刺ししやすいラワン合板で仕上げる事でコストを抑えつつ、可変性のある木質空間として計画します。
- ・**上部外壁：中空ポリカーボネート**
上部の外壁を中空ポリカーボネートで仕上げる事でコストを抑えつつ、可変性のある木質空間として計画します。

土間空間を中心とした使いやすい平面計画

土間空間を中心として諸室を配置しているため、**各諸室への動線が最短かつスムーズに移動できる、使いやすい平面計画**としています。

空間の一体感を生むパッシブデザイン

家形の屋根架構の外側にハイサイドライトを設けることで空間の一体感を損なわず採光と換気を効果的に行う計画としています。

面積表	
延床面積	102.68㎡
建築面積	150.71㎡
集会室	79.49㎡
倉庫	9.94㎡
トイレ	9.94㎡
玄関ホール	3.31㎡

